

事業名	アンコールワット国際ハーフマラソン／アンコールウォーキング
分類	スポーツ事業支援、組織化支援
協働団体	カンボジアオリンピック委員会(NOCC)、カンボジア陸上連盟(KAAF)
活動概要	<p>大会趣旨:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界に向かって「非人道的な対人地雷の使用禁止」を訴える。 ・大会エントリー費用は義手義足支援と、地雷被災者の社会復帰・自立を支援するとともに、青少年エイズ予防支援活動等に使用。 ・健常者だけでなく、障がい者も、共に走ることを通じて、勇気と希望を与える。 ・公認及び協カツアの旅行代金の一部とその他寄付をカンボジアのスポーツ振興に役立てる。 ・カンボジアに対する世界各国からの支援に対し、感謝と元気なカンボジアを訴求する。 <p>テーマ: 「Building a better future – Aid for children and disabled in Cambodia」</p> <p>主催: カンボジア陸上競技連盟(KAAF)、カンボジアオリンピック委員会(NOCC)</p> <p>主管: カンボジア陸上競技連盟(KAAF)</p> <p>運営: アンコールワット国際ハーフマラソン組織委員会・実行委員会</p> <p>特別運営協力: <NPO>ハート・オブ・ゴールド</p> <p>後援: カンボジア政府、独立行政法人国際協力機構(JICA)、産経新聞、サンケイスポーツ他</p> <p>協賛: ㈱コニシ、CAMBREW LTD.、Foreign Trade Bank of Cambodia、United Pharma(Cambodia)、Latels Co., Ltd</p> <p>協力: ㈱アシックス、㈱かねふく、ナカシマロペラ(株)、両備グループ、㈱おもちゃ王国、㈱ベネッセホールディングス、㈱ライツ、 株JTB 中国四国岡山支店、鼓粋若衆板橋轟太鼓、Asia Life Magazine、Bridge Marketing Ltd.、 ロイヤルアンコール国際病院、アンコール小児病院、Sokha Angkor Hotel、Hero King Co.,Ltd、Cogetel Limited</p> <p>開催日時: 2012年12月2日(日) 午前6時30分スタート</p> <p>種目: ハーフマラソン 21km(男女/車椅子男女)、ロードレース 10km (男女/義足男女/義手男女)、ファン・ラン3km(オープン)</p> <p>コース: アンコール遺跡周回特設コース(AIMS 公認)</p> <p>プレイベント: ・アンコールウォーキング(11/30): 運営:HG、5・10km ウォーク、子ども達との交流 ・前夜祭(12/1): 運営:観光省、HG、CE</p> <p>エントリー: オンラインエントリー(GAA 委託)、日本 HG 代行登録、現地登録 P.M.Green、現地登録KAAF</p> <p>参加者: 6,241 人 71 の国と地域 ※参加者、参加国ともに過去最高。(プレイベント含めると 6,428 人) (カンボジア、アフガニスタン、ブルネイ、中国、インドネシア、インド、イスラエル、日本、キルギス、韓国、クウェート、マレーシア、シンガポール、モンゴル、 ミャンマー、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ、トルクメニスタン、台湾、トルコ、ベトナム、香港、オーストラリア、ニュージーランド、チエコ、オーストリア、ドイツ、 アゼルバイジャン、ベルギー、ベラルーシ、ボスニアヘルツェゴビナ、デンマーク、スペイン、フィンランド、フランス、イギリス、アイルランド、ギリシャ、ノルウェー、 ハンガリー、イタリア、リトアニア、ルクセンブルク、オランダ、ポーランド、ルーマニア、モナコ、ロシア、スロベニア、スイス、スロバキア、スウェーデン、 アルゼンチン、ブラジル、カナダ、コロンビア、コスタリカ、エクアドル、ジャマイカ、ルーマニア、ペルー、アメリカ、ケニア、ベネズエラ、エチオピア、モザンビーク、 ナイジェリア、南アフリカ)</p> <p>チャリティ: US\$19,400(カンボジア赤十字、カンボジア・トラスト、ハンディキャップ・インターナショナル、カンボジア障がい者陸連、HG) US\$294,417(第1回大会(1996)から第17回大会(2012)までの合計)</p> <p>特記事項: 参加者増加によるスタート時の安全確保に懸念があったが事前ワークショップの実施等により解決できた。前夜祭、最終登録確認などの事前準備も含め、全般的に、カンボジア人による運営が、かなり進んだ。カンボジア国内でのスポンサー獲得が増加した。エントリー数のコントロールにおいて安全を第一に行っていくことが課題である。今大会の有森賞(かすみがうらマラソンへの招待)は、ハーフ男子3位 Ma Viro と義足10km女子1位 Srey Uouchngea。</p> <p>支援・協力団体: 柏崎マラソン、篠山ABCマラソン、高槻シティマラソン、吹田中ノ島チャリティラン、かすみがうらマラソン</p>

